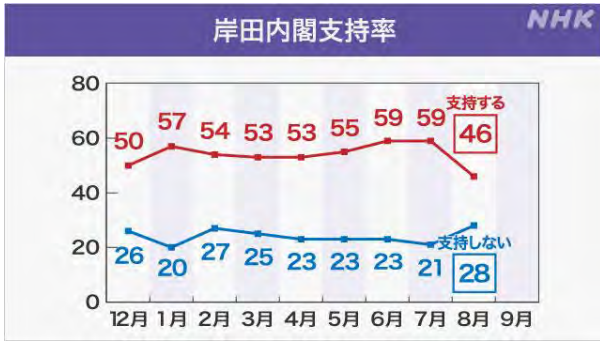


2022年8月9日～8日

世論調査 (NHK、読売新聞・NNN)、統一協会

岸田内閣「支持」46% 内閣発足後最低に 「不支持」28%

NHK2022年8月8日 19時01分



NHKの世論調査によりますと、岸田内閣を「支持する」と答えた人は、前回・3週間前の調査より13ポイント下がって46%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は7ポイント上がって28%でした。「支持する」と答えた人の割合は、去年10月の内閣発足後最も低くなりました。

NHKは、今月5日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象にコンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。

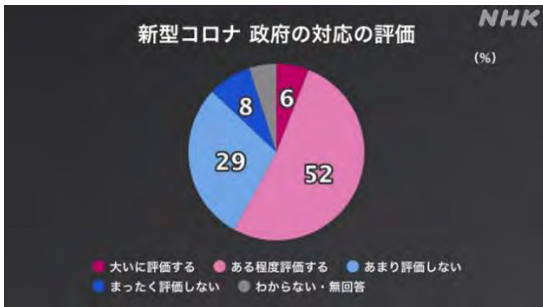
調査の対象となったのは2577人で48%にあたる1223人から回答を得ました。

岸田内閣を「支持する」と答えた人は、参議院選挙後に行った前回・3週間前の調査より13ポイント下がって46%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は、7ポイント上がって28%でした。

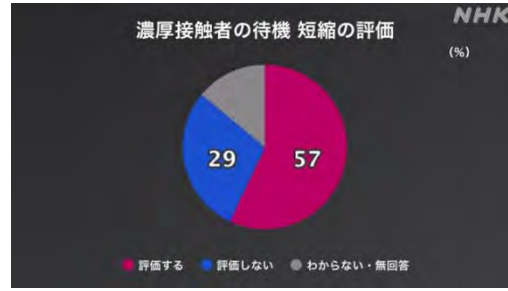
「支持する」と答えた人の割合は、去年10月の岸田内閣発足後、最も低くなりました。

支持する理由では、「他の内閣より良さそうだから」が43%、「支持する政党の内閣だから」が24%、「人柄が信頼できるから」が15%などとなりました。

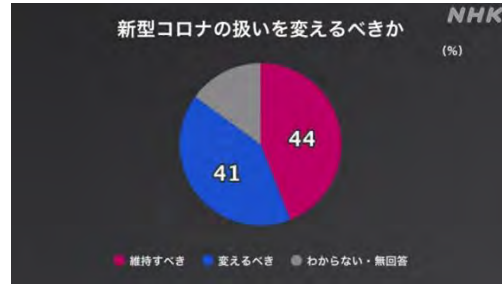
支持しない理由では、「政策に期待が持てないから」が35%、「実行力がないから」が28%、「支持する政党の内閣でないから」が20%などでした。



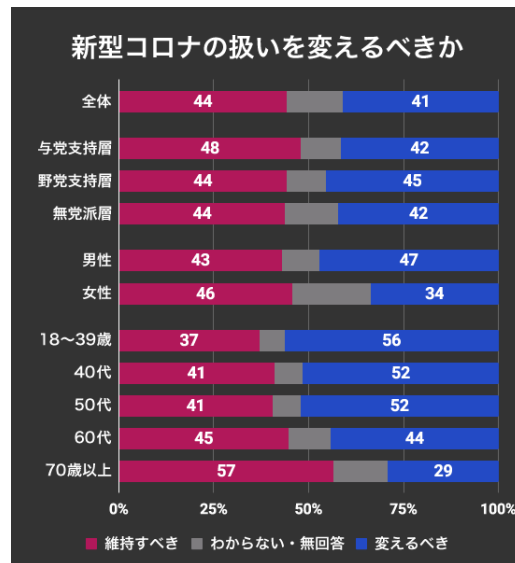
新型コロナをめぐる政府の対応をどの程度評価するか尋ねたところ、「大いに評価する」が6%、「ある程度評価する」が52%、「あまり評価しない」が29%、「まったく評価しない」が8%でした。



新型コロナの濃厚接触者に求める待機を、政府が最短で3日目に解除できるようにしたことについて、「評価する」が57%、「評価しない」が29%でした。



強い措置がとれる感染症に指定されている新型コロナの扱いを維持すべきか、季節性のインフルエンザと同じ扱いに変えるべきか尋ねたところ、「維持すべき」が44%、「変えるべき」が41%でした。

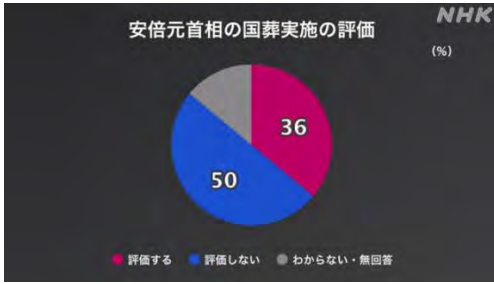


新型コロナウイルスの扱いを変えるべきかどうかを支持政党別に見ますと、与党支持層、野党支持層、無党派層とも「維持すべき」と「変えるべき」が40%台で並び、目立った違いは見られませんでした。

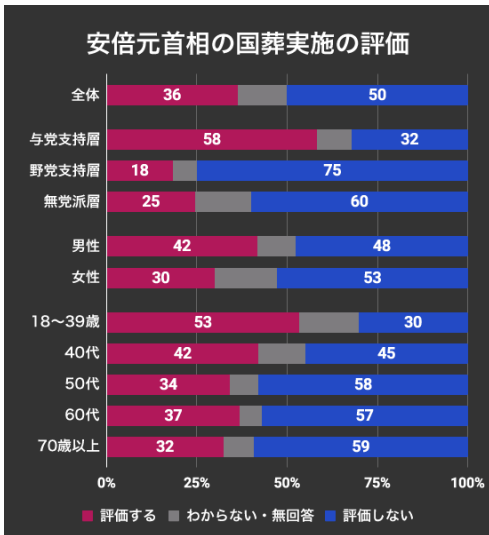
男女別に見ますと、男性では「維持すべき」と「変えるべき」が40%台で割れたのに対し、女性は「維持すべき」が46%で、「変えるべき」の34%を上回っています。

年代別で見ますと、若い人ほど「変えるべき」が多い傾向にあり、30代以下では56%と特に多くなっています。

60代では「維持すべき」と「変えるべき」で意見が割れていますが、70歳以上では「維持すべき」が57%に上り、「変えるべき」を上回りました。



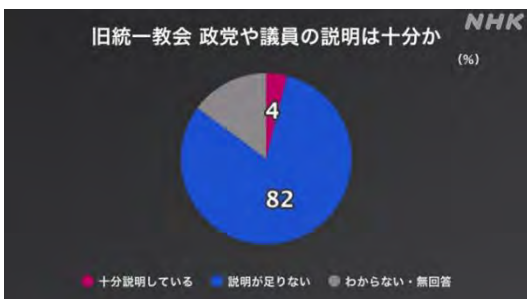
政府が来月 27 日に安倍元総理大臣の「国葬」を行うことへの評価を聞いたところ、「評価する」が 36%、「評価しない」が 50%でした。



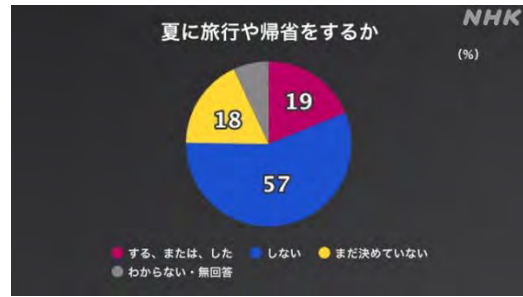
政府が安倍元総理大臣の「国葬」の実施を決めたことへの評価を支持政党別に見ますと、与党支持層では「評価する」が 58%で「評価しない」の 32%を上回りました。

一方、野党支持層では「評価しない」が 75%、無党派層では 60%を占め、それぞれ「評価する」を大きく上回っています。男女別では、男性で「評価する」と「しない」がいずれも 40%台だったのに対し、女性は、「評価しない」が 53%で、「評価する」の 30%を上回りました。

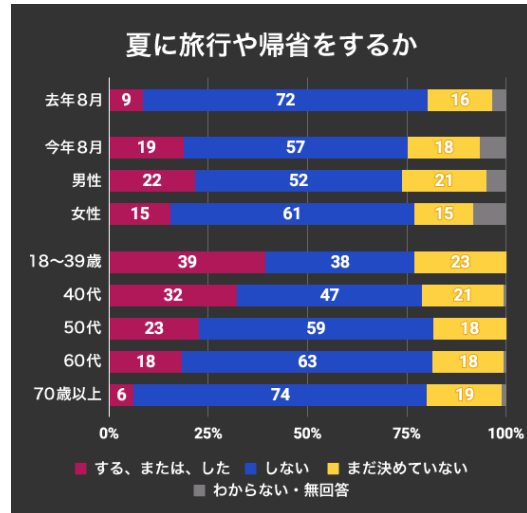
年代別に見ると、30代以下では「評価する」が 53%と半数を超え「評価しない」より多くなったのに対し、50代以上では「評価しない」が 60%近くの多数に上っています。40代では「評価する」と「しない」で意見が分かれました。



「世界平和統一家庭連合」、旧統一教会と政治との関係について、政党や国会議員が十分説明しているかどうか尋ねたところ、「十分説明している」が 4%、「説明が足りない」が 82%でした。



この夏に旅行や帰省をするかについては「する、または、した」が 19%、「しない」が 57%、「まだ決めていない」が 18%でした。



この夏、旅行や帰省を「する、または、した」と答えた人は 19%で、去年 8 月の調査から 10 ポイント増えました。

男女別に見ますと、「する、または、した」と答えた男性は 22%で、女性の 15%を上回りました。

年代別に見ますと、「する、または、した」と答えた人は、若い人ほど多くなっています。

30代以下では、去年 8 月の調査から 22 ポイント増えて 39%となり、「しない」の 38%と同じ程度となりました。

一方、40代以降では、「する、または、した」より「しない」と答えた人のほうが多く、50代と 60代では 60%前後、70歳以上では 74%に上っています。

### 各党の支持率は NHK 世論調査

NHK2022 年 8 月 8 日 19 時 09 分



各党の支持率です。

「自民党」が 36.1%、「立憲民主党」が 5.5%、「日本維新の会」が 6.0%、「公明党」が 2.7%、「共産党」が 3.4%、「国民民主党」が 1.5%、「れいわ新選組」が 1.0%、「社民党」が 0.4%、

「NHK 党」が0.5%、「参政党」が0.9%、「特に支持している政党はない」が34.3%でした。

## 岸田内閣支持率57%、旧統一教会との関係「説明果たしてない」87%...読売世論調査

読売新聞 2022/08/08 22:00

読売新聞社は5～7日に全国世論調査を実施し、岸田内閣の支持率は57%となり、参院選直後に行った前回(7月11～12日調査)の65%から8ポイント下落した。不支持率は32%(前回24%)。



首相官邸に入る岸田首相(3日午前10時25分)

＝源幸正倫撮影

「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)とのつながりについて、政党や国会議員が説明責任を果たしていると「思わない」は87%に達した。

新型コロナを巡る政府の対応を「評価する」は52%(前回64%)に低下し、「評価しない」は41%(同31%)。物価高への対応を「評価しない」は71%(6月22～23日調査71%)だった。「旧統一教会」「コロナ」「物価高」への対応への不満が支持率を押し下げたとみられる。

政府が安倍晋三・元首相の国葬(国葬儀)の実施を決めたことについては、「評価する」49%、「評価しない」46%と世論が二分した。

## 安倍元首相の国葬「評価する」49%、「評価しない」46%...読売世論調査

読売新聞 2022/08/09 05:00

読売新聞社は5～7日に全国世論調査を実施し、岸田内閣の支持率は57%となり、参院選直後に行った前回(7月11～12日調査)の65%から8ポイント下落した。不支持率は32%(前回24%)。



国会議事堂前を通過する、安倍元首相のひつぎを乗せた霊きゅう車(7月12日午後3時6分、東京都千代

田区で)＝若杉和希撮影

自民党などの複数の国会議員が、「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)から選挙での支援や寄付を受けていたことに関して、政党や議員が説明責任を果たしていると「思わない」は87%に達した。自民支持層でも「思わない」が82%に上った。

新型コロナを巡る政府の対応を、「評価する」は52%(前回64%)に低下し、「評価しない」は41%(同31%)。物価高への対応を「評価しない」は71%(6月22～23日調査71%)だった。「旧統一教会」「コロナ」「物価高」対応への不満が支持率を押し下げたとみられる。ただ、支持率57%は、与党が大勝した参院選の公示直後の調査(6月22～23日実施)と同じで、高い水準といえる。

また、政府が安倍晋三・元首相の国葬(国葬儀)の実施を決めたことについては、「評価する」49%、「評価しない」46%と、世論が二分していた。

政党支持率は、自民党38%(前回44%)、立憲民主党6%(同6%)などの順で、無党派層は36%(同25%)だった。

先の参院選で政策と無関係な政見放送が相次いだ。政見放送のあり方を見直すべきだと「思う」は74%に上り、「思わない」は17%にとどまった。

## 自民支持率6ポイント低下し38%、立民6%・維新5%...読売世論調査

読売新聞 2022/08/08 22:00

5～7日に実施した読売新聞社の全国世論調査で、自民党の支持率は38%と前回(7月11～12日調査)の44%から6ポイント低下した。「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)と同党の複数の国会議員との関係が表面化したことの影響とみられる。立憲民主党6%(前回6%)、日本維新の会5%(同8%)、共産党3%(同2%)、公明党3%(同5%)、参政党2%(同2%)などの順で、自民党以外は大きな変化がなかった。無党派層は36%(同25%)に上昇した。

## コロナ対応で優先すべきは「経済活動」46%、「感染防止」は45%...読売世論調査

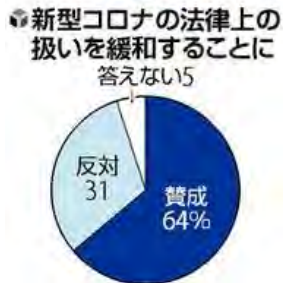
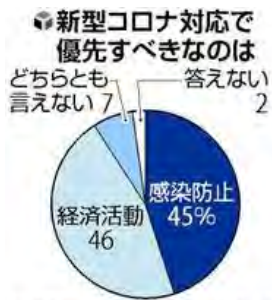
読売新聞 2022/08/08 22:00

読売新聞社の全国世論調査で、新型コロナ対応について「経済活動」を優先すべきが46%と、「感染防止」の45%をわずかながら上回った。2020年11月の調査では「感染防止」62%が「経済活動」28%を大きく上回っていた。新型コロナの感染で重症化する不安を「感じている」人は55%となり、今年の2月調査の66%から11ポイント低下した。



お盆休みを前に設置された新型コロナの無料検査場にはたくさんの人が並んだ(5日午前8時7分、JR新大

阪駅で) =里見研撮影



新型コロナの法律上の扱いを季節性インフルエンザと同じくらいまで緩和することに「賛成」は64%に上り、「反対」は31%にとどまった。

一方、この夏の旅行の予定について聞くと、「ない」が73%で最も多く、「ある」は17%、「すでに旅行をした」は9%だった。

調査は5～7日に実施した。

## 2022年8月 電話全国世論調査 質問と回答

読売新聞 2022/08/09 05:00

本社全国世論調査結果 (数字は%)

選択肢を読みあげた質問は末尾に※印

( ) 内の数字は前回7月11～12日の結果

◆あなたは、岸田内閣を、支持しますか、支持しませんか。

- ・支持する 57 (65)
- ・支持しない 32 (24)
- ・その他 4 (5)
- ・答えない 7 (6)

▼支持する理由(支持しない理由)を、次に読みあげる6つの中から、1つだけ選んでください。(左の数字は「支持する理由」、右は「支持しない理由」)※

- ・政策に期待できる(できない) 11 23
- ・首相に指導力がある(ない) 5 18
- ・首相が信頼できる(できない) 18 9
- ・閣僚の顔ぶれがよい(よくない) 2 10
- ・自民党中心の政権だから 20 30
- ・他によい人がいない(いる) 44 5
- ・その他 0 1
- ・答えない 1 3

◆今、どの政党を支持していますか。1つだけあげてください。

- ・自民党 38 (44)
- ・立憲民主党 6 (6)
- ・日本維新の会 5 (8)

- ・公明党 3 (5)
- ・共産党 3 (2)
- ・国民民主党 1 (1)
- ・れいわ新選組 1 (2)
- ・社民党 1 (1)
- ・NHK党 1 (0)
- ・参政党 2 (2)
- ・その他 0 (0)
- ・支持する政党はない 36 (25)
- ・答えない 3 (3)

◆新型コロナウイルスを巡る、日本政府のこれまでの対応を、評価しますか、評価しませんか。

- ・評価する 52
- ・評価しない 41
- ・答えない 7

◆あなたは、新型コロナウイルスへの対応で、感染防止と経済活動のどちらを優先すべきだと思いますか。

- ・感染防止 45
- ・経済活動 46
- ・どちらとも言えない 7
- ・答えない 2

◆新型コロナウイルスの法律上の扱いを、季節性インフルエンザと同じくらいまで緩和することに、賛成ですか、反対ですか。

- ・賛成 64
- ・反対 31
- ・答えない 5

◆あなたは、自分が新型コロナウイルスに感染して重症になるのではないかという不安を感じていますか、いませんか。次の4つの中から、1つ選んでください。※

- ・大いに感じている 14
- ・多少は感じている 41
- ・あまり感じていない 32
- ・全く感じていない 12
- ・答えない 1

◆あなたは、この夏に、旅行をする予定がありますか、ありませんか。次の3つの中から、1つ選んでください。※

- ・ある 17
- ・ない 73
- ・すでに旅行をした 9
- ・答えない 0

◆物価高に対する日本政府の対応を、評価しますか、評価しませんか。

- ・評価する 22
- ・評価しない 71
- ・答えない 7

◆参議院選挙の期間中に流れた「政見放送」で、政策とは無関係の内容を発信する候補者が相次ぎました。あなたは、政見放送のあり方を見直すべきだと思いますか、思いませんか。

- ・思う 74
- ・思わない 17
- ・答えない 9

◆政府は、安倍晋三・元首相の国葬の実施を決めました。この決定を、評価しますか、評価しませんか。

- ・評価する 49
- ・評価しない 46
- ・答えない 5

◆自民党などの複数の国会議員が、「世界平和統一家庭連合」（旧統一教会）から、選挙での支援や寄付を受けていたことを明らかにしました。政党や国会議員は、旧統一教会とのつながりについて、説明責任を果たしていると思いますか、思いませんか。

- ・思う 8
- ・思わない 87
- ・答えない 5

【調査方法】8月5～7日に、コンピューターで無作為に作成した固定電話と携帯電話の番号にかけるRDD方式で18歳以上の有権者を対象に実施。固定では有権者居住が判明した708世帯の中から420人、携帯では応答のあった1471人の中から615人、計1035人の回答を得た。回答率は固定59%、携帯42%。

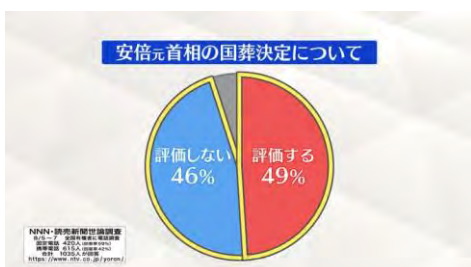
小数点以下四捨五入。グラフや表の数値は、合計が100%にならないことがある。

0は0.5%未満。

◎ RDD = Random Digit Dialing

NNN2022年8月8日 22:02

**NNN 世論調査 安倍氏国葬 “評価” 49%**



NNNと読売新聞が今月5日から7日まで行った世論調査で、政府が安倍元首相の国葬の実施を決めたことについて「評価する」は49%でした。一方、「評価しない」は46%で、評価が分かれました。

NNN・読売新聞世論調査

8月5日から7日

全国有権者に電話調査

固定電話 420人（回答率59%）

携帯電話 615人（回答率42%）

合計 1035人が回答

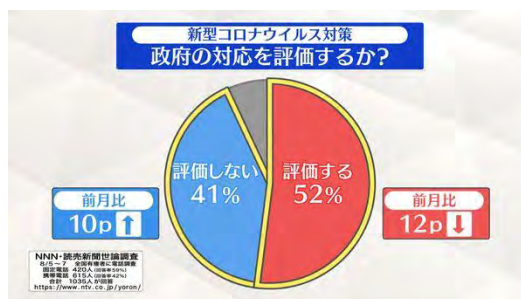
NNN2022年8月8日 22:04

**NNN 世論調査 内閣支持率 8ポイント下落し 57%**

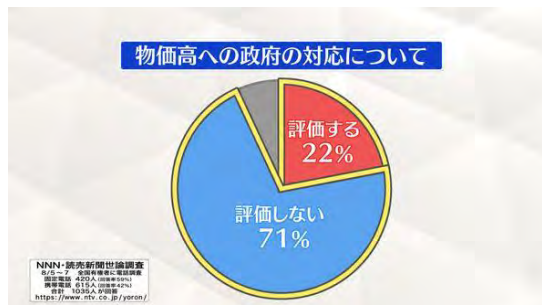


NNNと読売新聞が今月5日から7日まで行った世論調査で、岸田内閣の支持率は前の月より8ポイント下がり、57パーセントでした。

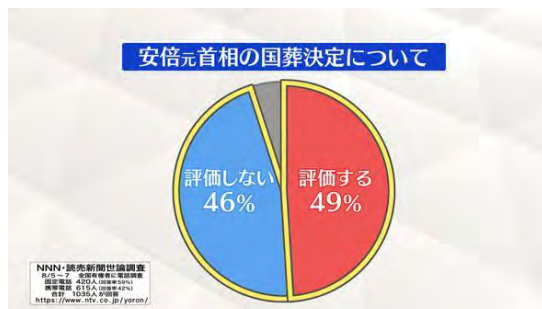
世論調査で、岸田内閣を支持するか、たずねたところ、「支持する」は前の月より8ポイント下がり57パーセントでした。内閣支持率が60パーセント台を割り込むのはことし4月以来、4か月ぶりです。「支持しない」は8ポイント上がり、32パーセントでした。



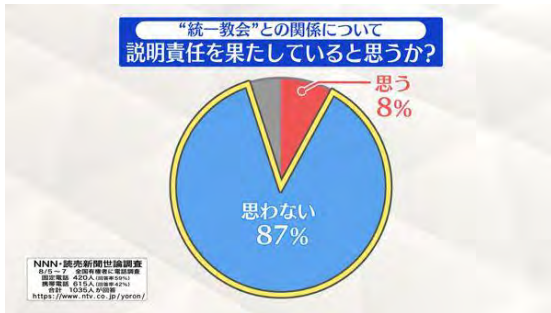
新型コロナウイルスをめぐる政府のこれまでの対応については「評価する」が先月より12ポイント下がり、52パーセント、「評価しない」は41パーセントでした。感染が再び拡大していることが影響しているとみられます。



また、物価高への政府の対応については「評価しない」は71パーセントに達し、「評価する」は22パーセントでした。

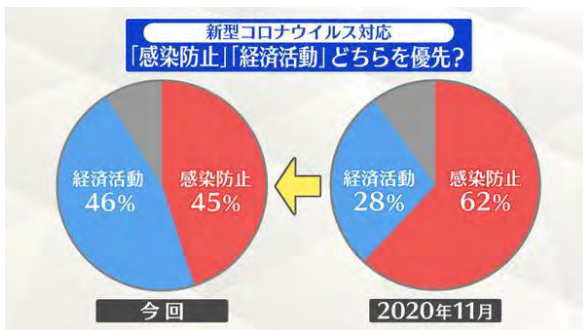


政府が安倍元総理大臣の国葬の実施を決めたことは「評価する」が49パーセント、「評価しない」が46パーセントで、評価が分かれました。



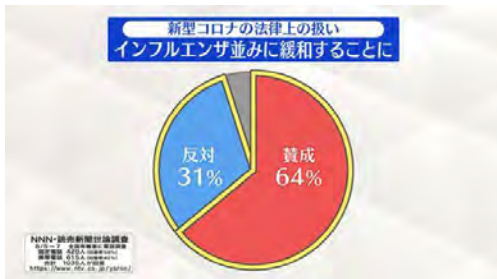
政党や国会議員はいわゆる統一教会とのつながりについて説明責任を果たしていると思うか、たずねたところ、説明責任を果たしていると思わないが87パーセントで、「思う」は8パーセントにとどまりました。

このように、新型コロナや物価高に対する政府の対応への評価が低かったこと、いわゆる統一教会の問題で説明不足との評価が多かったことなどが影響し、岸田内閣の支持率はダウンしたものとみられます。



新型コロナへの対応で感染防止と経済活動のどちらを優先すべきかについては「経済活動」が46パーセント、「感染防止」が45パーセントでほぼ同じでした。

2020年11月に同じ質問をしたとき、「感染防止」が62パーセント、「経済活動」が28パーセントだったのに比べると「経済活動」を重視する意見が増えていることがわかります。



また、新型コロナの法律上の扱いを季節性インフルエンザと同じくらいまで緩和することには「賛成」が64パーセントで「反対」の31パーセントの倍以上の結果となりました。

NNN・読売新聞世論調査

8月5日から7日

全国有権者に電話調査

固定電話 420人 (回答率 59%)

携帯電話 615人 (回答率 42%)

合計 1035人が回答

NNN 定例世論調査 2022年8月

岸田内閣支持率

あなたは、岸田内閣を、支持しますか、支持しませんか。

- 支持する 57%
- 支持しない 32%
- その他 4%
- 答えない 7%

支持不支持

支持する理由を、次に読みあげる6つの中から、1つだけ選んでください。

- 政策に期待できる 11%
- 首相に指導力がある 5%
- 首相が信頼できる 18%
- 閣僚の顔ぶれがよい 2%
- 自民党中心の政権だから 20%
- 他によい人がいない 44%
- その他 0%
- 答えない 1%

支持しない理由を、次に読みあげる6つの中から、1つだけ選んでください。

- 政策に期待できない 23%
- 首相に指導力がない 18%
- 首相が信頼できない 9%
- 閣僚の顔ぶれがよくない 10%
- 自民党中心の政権だから 30%
- 他によい人がいる 5%
- その他 1%
- 答えない 3%

政党支持率

今、どの政党を支持していますか。1つだけあげてください。

政党名 支持率 (前回) 単位: % 前回比

- 自民党 38 (44) -6
- 立憲民主党 6 (6) -
- 日本維新の会 5 (8) -3
- 公明党 3 (5) -2
- 共産党 3 (2) +1
- 国民民主党 1 (1) -
- れいわ新選組 1 (2) -1
- 社民党 1 (1) -

NHK党 1 (0) +1

参政党 2 (2) -

その他の政党 0 (0) -

支持する政党はない 36 (25) +11

答えない 3 (3) -

新型コロナウイルスを巡る、日本政府のこれまでの対応を、評価しますか、評価しませんか。

- 評価する 52%
- 評価しない 41%
- 答えない 7%

あなたは、新型コロナウイルスへの対応で、感染防止と経済活

動のどちらを優先すべきだと思いますか。

- 感染防止 45%
- 経済活動 46%
- どちらとも言えない 7%
- 答えない 2%

新型コロナウイルスの法律上の扱いを、季節性インフルエンザと同じくらいまで緩和することに、賛成ですか、反対ですか。

- 賛成 64%
- 反対 31%
- 答えない 5%

あなたは、自分が新型コロナウイルスに感染して重症になるのではないかと不安を感じていますか、いませんか。次の4つの中から、1つ選んでください。

- 大いに感じている 14%
- 多少は感じている 41%
- あまり感じていない 32%
- 全く感じていない 12%
- 答えない 1%

あなたは、この夏に、旅行をする予定がありますか、ありませんか。次の3つの中から、1つ選んでください。

- ある 17%
- ない 73%
- すでに旅行をした 9%
- 答えない 0%

物価高に対する日本政府の対応を、評価しますか、評価しませんか。

- 評価する 22%
- 評価しない 71%
- 答えない 7%

参議院選挙の期間中に流れた「政見放送」で、政策とは無関係の内容を発信する候補者が相次ぎました。あなたは、政見放送のあり方を見直すべきだと思いますか、思いませんか。

- 思う 74%
- 思わない 17%
- 答えない 9%

政府は、安倍晋三・元首相の国葬の実施を決めました。この決定を、評価しますか、評価しませんか。

- 評価する 49%
- 評価しない 46%
- 答えない 5%

自民党などの複数の国会議員が、「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)から、選挙での支援や寄付を受けていたことを明らかにしました。政党や国会議員は、旧統一教会とのつながりについて、説明責任を果たしていると思いますか、思いませんか。

- 思う 8%
- 思わない 87%
- 答えない 5%

#### ▼調査方法

2022年8月5日(金)～8月7日(日)に、コンピューターで無作

為に作成した固定電話と携帯電話の番号にかけるRDD(Random Digit Dialing)方式で18歳以上の有権者を対象に実施。

固定では有権者在住が判明した708世帯の中から420人、携帯では応答のあった1471人の中から615人、計1035人の回答を得た。回答率は固定59%、携帯42%。

小数点以下四捨五入。グラフや表の数値は、合計が100%にならないことがある。0は0.5%未満。－は回答なし。

※2018年7月からは日本テレビ系列各局と読売新聞社が共同で調査を行う「NNNと読売新聞社の全国世論調査」となりました。

#### 自民と旧統一教会 なぜ関係を隠すのか

毎日新聞 8/9(火) 7:35 配信



記者会見で記者の質問に耳を傾ける世界

平和統一家庭連合(旧統一教会)の田中富広会長＝東京都新宿区で2022年7月11日、佐々木順一撮影

北海道大学教授の桜井義秀氏は毎日新聞政治プレミアの取材に応じた。「旧統一教会と関係のあった議員は『支援に対する見返りは何もない』と主張している。しかし、基本的にはバーターのはずで、何かをしてもらったら何かを返すものだ」と指摘した。宗教社会学が専門の桜井氏は、「旧統一教会と自民党の問題は、その関係が有権者に見えにくいことだ。旧統一教会と日本会議の双方から支援を受けている議員が多いが、両団体の思想は合致しない点が多い。関係を持つこと自体が問題なのではなく、秘匿しなければならないことがおかしいのではないか」と言う。「こうした不透明な関係は、有権者が選択する権利を行使する機会を奪っている。私たちは政治家の功績や実績、選挙公約や人柄などを信じて投票している。教団との関係を秘匿することは、有権者への裏切りとも言える」と語った。

#### 自民と旧統一教会 関係の秘匿が問題だ 桜井義秀・北海道大大学院教授

毎日新聞 2022年8月9日



記者団の質問に答える岸田文雄首相＝首相

官邸で2022年8月5日、竹内幹撮影

政治家は支援団体を求めるもので、宗教団体もその一つだ。宗教側も政治参加を求め、政治が呼応している面もある。

宗教と政治の関係にはいくつかのタイプがある。創価学会と公明党のように宗教理念を政治に実現するために政党を結成するタイプや、保守系団体・日本会議と関係の深い宗教団体

のように理念に近い政治家を支援するタイプもある。これらとは異なり、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）のように与野党問わず政治と幅広く関係を持つタイプもある。

旧統一教会と自民党の場合、教団側は選挙で固定票を提供し、街頭演説では聴衆の動員をかけていた。パーティー券の購入や私設秘書を無償で事務所に派遣する例もあった。

こうした関係は、旧統一教会が反共産主義を掲げて政治団体「国際勝共連合」を1968年に発足して以降、約50年にわたって続いてきた。ただ、この30年ほどは忘れられていた。祝辞を贈るだけで教団にはメリット

旧統一教会と関係のあった議員は「支援に対する見返りは何もない」と主張している。しかし、基本的にはバーターではなく、何かしてもらったら何かを返すものだ。

...

残り 1055 文字

## 旧統一教会と40年以上関わり 北海道市議「縁を切ると言う気ない」

毎日新聞 8/5(金) 17:03 配信



北海道帯広市の清水誠一市議＝2022年3月23日、鈴木育撮影

元衆院議員の清水誠一・北海道帯広市議（73）＝自民党会派＝が、40年以上にわたり、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の政治団体「国際勝共連合」と付き合いがあることが明らかになった。清水氏は8月5日、毎日新聞の取材に「（自身の）後援会の入会カードを集めてもらっていた」と述べ、支援を受けた経緯にふれ「一切縁を切ると言う気もない」と話した。

清水氏は帯広市議、北海道議、衆院議員を歴任し、2022年4月の帯広市議補選で市議に返り咲いている。清水氏によると、旧統一教会が反共産主義を掲げて創設した「国際勝共連合」を知ったのは1970年代後半。当時の帯広市長選で自身が支援する候補者の選対の中にメンバーが数人いたという。その後、政治家となり、90年ごろには、自身の後援会の入会カードを集めてもらうこともあった。一方で、清水氏は「支援を依頼するのは旧統一教会だけではない」と強調。他に複数の宗教団体の名前を挙げ、「別の宗教団体の方が（関係性が）強かった」と話した。旧統一教会をめぐるのは80年代以降、不安や恐怖をあおって高額な物品を売りつける「霊感商法」の事件化や、高額献金の強要をめぐる訴訟などで何度も社会問題となってきた。しかし、清水氏は「社会問題化しているということ自体、今まで認識することがなかった。たぶん、本州と北海道の違いではないか」と語った。これまで関係を絶たなかった理由としては、寄付金や会費を払うなどの対価を求められなかったことや、反共産主義という方向性が一致していたことなどを挙げた。安倍晋三元首相が銃撃され死亡した

事件を受け、教団側との今後の関係について問われると「一生懸命頑張ってくれている（自身の政治活動などを支援する）ボランティアの人たちがいる。あの人たちも社会を良くしたいと思っているわけであって、今後『あそこの団体と関わる人とは一切縁を切ります』というのは僕の立場では言えないし、言う気もない」と述べた。【後藤豪】

## 政治家との関係白日の下に 鈴木エイト氏が旧統一教会を追う理由

毎日新聞 2022/8/8 05:00（最終更新 8/8 05:00）



世界平和統一家庭連合の記者会見で一部メディアの取材が認められず、会場前で抗議する記者らを制止するスタッフ＝東京都新宿区で2022年7月11日午後1時55分、佐々木順一撮影

安倍晋三元首相（67）への銃撃事件が発生して以降、連日のようにメディアに登場し、政治家と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係を白日の下にさらし続けるジャーナリストの鈴木エイトさん。大学卒業後は一介のバンドマンだったという鈴木さんが、なぜ旧統一教会を追及するようになったのか。長年集めてきた膨大な資料をひもといてもらった。

一人で始めた「偽装勧誘」阻止活動

旧統一教会に関心を持ったのは約20年前、自宅でもたもた見たテレビ番組がきっかけだった。番組では、手相や姓名判断、意識調査アンケートの名目で街行く人に声をかけ、最終的に宗教団体に勧誘する「偽装勧誘」の手口を紹介していた。

翌日、東京・渋谷を歩いていると、番組と同じ手法で勧誘をしている団体を見つけ、思わず「これ宗教の勧誘だよ」と割って入った。旧統一教会の勧誘現場だった。鈴木さんは「フェアに宗教の勧誘だと明らかにし、教団名を名乗ってやるべきだと思ったんです。正義感ではないですね。うそをついて勧誘しているのを論破するのが楽しかったんです」と振り返る。

一人で偽装勧誘を阻止する活動を続けるうち、気づいたことがあった。「信者は必ずしも悪意で人をだましているのではなく、善意で勧誘していたんです。その信者のメンタリティー（心的傾向）や、被害者が次の被害者を生む構造に興味をわき、カルト問題に取り組むことにしました」

やがて全国霊感商法対策弁護士連絡会の会合にも出席するようになり、研究者や弁護士らでつくる「日本脱カルト協会」にも参加。2009年からは本格的に取材活動を始め、宗教問題などを取り扱うニュースサイト「やや日刊カルト新聞」などで記事を執筆してきた。

旧統一教会との暗闘

取材は一筋縄ではいかなかった。旧統一教会の問題点や政治家との関わりを指摘する鈴木さんが、集会やイベントの取材を申し込んでも基本的に許可は出ない。安倍元首相銃撃事



件発生後の記者会見でも、旧統一教会は参加メディアを制限し、鈴木さんらは会場に入れなかった。

鈴木さんは取材拒否にもめげず、時には帽子や眼鏡で変装して潜入を試み、時には内部文書を入手して旧統一教会の実態に迫ってきた。「変装が見つかって、知り合いの信者からゲラゲラ笑われたこともありますよ」と、思い出し笑いをする。

11年には、「要注意人物!」「無断で教会関連施設に押し入り、写真撮影等を行う」などと書かれたチラシを顔写真入りで作られたこともあった。鈴木さんいわく「指名手配」だ。取材を控えたのかと思いきや、鈴木さんが考えたことはまるで違った…

この記事は有料記事です。

残り 2458 文字

## 旧統一教会「霊感商法」を本格追及した朝日ジャーナル名物記者への非道な抗議と嫌がらせ電話の「中身」

AERADot.2022/08/09 08:00



「朝日ジャーナル」では、1986年12

月から87年にかけて、「霊感商法」を本格追及していた

7月8日に安倍晋三元首相銃撃事件が起こってから1カ月が経った。逮捕された山上徹也容疑者の動機について、犯行直後は「母親が“ある宗教団体”にのめり込んで多額の寄付をしたことで家庭が崩壊。恨みがあったと供述した」などと報じられた。その後、同月11日に世界平和統一家庭連合(旧統一教会)が会見を開くまで宗教の団体名を報じるマスコミはほとんどなかった。なぜ、多くの報道機関は旧統一教会の名前を出すことを躊躇したのか? その理由について、1980年代に「朝日ジャーナル」で霊感商法を鋭く追及した元朝日新聞記者、藤森研さんが実体験をもとに語った。

\* \* \*

7月29日、全国霊感商法対策弁護士連絡会は日本外国特派員協会で会見を開いた。代表世話人の山口広弁護士は、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)を巡る問題について、メディアをこう批判した。

「私はもう日本のテレビと新聞はレベルダウンが著しいと思っています。なんですか! 『特定の宗教団体』としか言わないじゃないですか。月曜日(7月11日)に、Unification Church(旧統一教会)が記者会見するまで、もうとっくに外国の新聞ではUnification Churchの問題を言ってますよ。あるいはネットにはたくさん流れてますよ。(中略)本当に悲しいですよ」

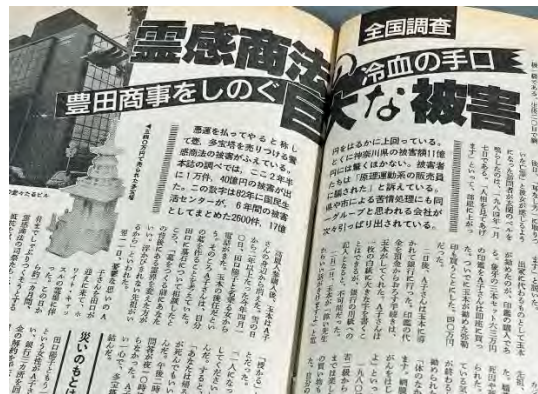
確かに事件翌日、旧統一教会とのつながりを報じたのはブルームバーグやBBCなどの海外メディアが多かった。日本のメディアでは「現代ビジネス」がいち早く安倍氏と旧統一教会の接点を書いた。しかし、日本の大手マスコミの動きは鈍かった。

これについて藤森研さんは、「非常に歯がゆいというか、違和感を覚えました」と語った。

### ■犯罪すれすれの抗議

藤森さんはこの事件が起きた際、安倍元首相の死に対して謹慎が求められたような、内向きの空気をまず全般的にメディアに感じたという。

「一例を挙げれば、ほぼすべてのテレビのコメンテーターは『とても許されないことですが』と、免罪符の言葉を口にしてから、事件についてこわごわと話し始めた。つまり、その背景についてぐいぐいと迫っていく気持ちが萎縮していた。それが特定宗教の団体名を出さないことに直接結びついたかどうかは別にして、一種の萎縮の空気をすべての報道に感じました」



藤森さんらが霊感商法を追及した「朝日ジャーナル」の記事(1986年12月)

さらに藤森さんは、「これは推測ですが」と、前置きしたうえで、こう語った。

「まだ教団と山上容疑者との関係が確定していないにもかかわらず旧統一教会の名前を出すことで、彼らから抗議されることを恐れたのでしょう」

報道機関が抗議を受けるのは日常茶飯事である。ある意味、抗議慣れしているメディアが、なぜなのか?

「かつて、旧統一教会について批判的な記事を書いて、表立って抗議されたことはたくさんありました。それでも言うことを聞かないと、教団は『裏の手』も大変熱心に使う。旧統一教会がそういう団体であることをメディアによっては認識しているわけです」

旧統一教会が80年代ごろからメディアに対して行ったのは、「抗議」などという生易しいものではなかった。会社への直接抗議にとどまらず、記者本人の家に押しかけたり、家族の生活を脅かしたりするなど、犯罪すれすれの行為を組織的に行ってきた。そんなこともあって各メディアは腰が引けたのではないかと藤森さんは推測する。

### ■記者の家を見張る信者

1980年代、旧統一教会が印鑑や壺(つぼ)などを高額な値段で売りつける「霊感商法」が社会問題となった。そのきっかけとなったのが1986年に「朝日ジャーナル」で藤森さんらが始めた霊感商法追及キャンペーンだった。

「それまでは『開運商法』などと呼ばれていたんです。こんな

にひどいことをやっているのに『開運』はないだろう、と。そこで、仲間とも相談して、追及キャンペーンでは『靈感商法』と名づけました」

「朝日ジャーナル」は断続的に旧統一教会を批判する記事を掲載してきた。それに対して旧統一教会は「信者が勝手にやっていることで、教会は関係ない」として編集部に抗議した。しかし、抗議の“効果”がないとわかると、教団は次第に記者本人や家族を標的にするようになった。

「86年12月ごろ、靈感商法追及キャンペーンを始めてすぐのころでした。当時、僕は東京・三鷹の借家に住んでいた。家主の息子が『未明から変なワンボックスカーが向かいに停まっている。中には屈強な若者が何人か乗っていてこちらをずっと見ているよ』って、知らせてくれた。それが嫌がらせ、個人攻撃の始まりでした」



世界平和統一家庭連

合 日本本部 (写真/アフロ)

休日、家にいると嫌がらせ電話がかかってきた。

『この世界で飯を食えなくしてやるからな』とか、いろいろなことを言うわけです。それから、なぜか娘の名前を知っていた。『〇〇ちゃん、元気？ ふふふ』。心配になって、下校時に迎えに行った。そんな電話がじゃんじゃん続いた」

#### ■「サタン」と呼ばれて

のちに脱会信者から話を聞くと、「僕は彼らの中では『サタン』と呼ばれていたようです。そりゃサタンが気を悪くするよと、冗談を言ったものですが」。

「仲間に嫌がらせ電話について相談すると、受話器録音装置を持って、駆けつけてくれた。それで『さあ、証拠をとっているからどんどん言え』って言ったら、無言電話に変わった。それでも1日100本以上かかってくる。仕方ないので、電話機を布団蒸しにした」

こんなこともあった。

最初はワゴン車の中にいた男たち。だが次第に家の入り口をうろつくようになった。

「あまりにもひどいので、こちらも攻勢に出ることにしました。カメラを持って出て行って、証拠を収集するからと言って、バチバチ写した。そうしたら、50メートルくらい離れた公園から見張るようになった」

ある日、その見張りを巻いてそっと横から近づき、腕をつかむと大騒ぎになった。

「男は『藤森さん、何するんだよ！ 警察呼ぶぞ』って言うから『いい考えだ、一緒に行こう』と、駅前の交番に向かって歩いていった。途中、『電話させてください』って言うから、公

衆電話で立ち止まったら、電話かけるふりして突然100メートル11秒ぐらいの感じで逃げていった」

87年半ばになると新聞やテレビも靈感商法追及キャンペーンを始め、大々的に報じられるようになった。

「このとき報じたメディアも統一教会から抗議を受けているはずですよ」と、藤森さんは言う。

秋になると、国会でも靈感商法が問題視され、旧統一教会は次第に靈感商法から手を引くようになる。

#### ■オウム真理教と重なる手口

藤森さんによると、旧統一教会の活動は大きく、三つの時期に分かれると言う。

「60年代、70年代は宗教団体であることを隠して大学生らを勧誘して洗脳し、信者にしていった。これが原理運動で、いわば『人の収奪』です。80年代は靈感商法による『金の収奪』の時期です。それでメディアは大騒ぎをするし、警察も乗り出してきたので、彼らは90年代から『内向』の時期に入ります。それが今に至るまでずっと続いている」

内向の初期である90年代にはタレントの桜田淳子や山崎浩子らの『合同結婚式』がワイドショーで取り上げられたが、それらは教団を追及、糾弾するという姿勢では報道されなかった、と藤森さんの目には映った。

「内向の時期に入った彼らが何をやったかという、真面目な善男善女を洗脳して『かたい信者』にしてしまうんです。教団に引っ張り込む騙しの手口はそれほど変わらないんですが、信者として『もう大丈夫だな』と判断したところで、全財産を献財させる」

そのやり口は、かつてオウム真理教が信者に対して行ったことと、ある面ではよく似ていると藤森さんは言い、こう続ける。

「今回の(安倍元首相銃撃)事件でぼくがハッとしたのは、山上容疑者のような『2世』の問題です。それまでまったく気がつかなかった」

靈感商法が下火になったとき、旧統一教会に対する追及を止めたことに対して「あれでよかったのかな、という思いをいま持っていることは事実です」と吐露する。

「原理運動や靈感商法のときは、被害者がやがて加害者になった—そういう構造だったんです。ところが2世は純粋な被害者です。教団に洗脳された親のもとで育った子どもたちがあんな苦勞してるなんて、思いもしなかった。この2世の問題を放置してきた社会やメディアも、ある意味、加害者側にいると思います。そのことを今回の事件で一番強く感じています」

#### ■瞬間風速で終わらせない

最後に、7月11日に旧統一教会が会見を開いて以降、マスコミの報道姿勢についてはどう感じているのか？

「この問題を瞬間風速、一過性で終わらせるのではなくて、きちんと伝えようとする姿勢が伝わってきます。おせじではなくて、本当にそう感じています。特に日本テレビが頑張っている。『情報ライブ ミヤネ屋』とか。それからTBS、テレビ朝

日も頑張っている。でも、なんといっても偉いのは、ジャーナリストの鈴木エイトさんです。彼は、このような事態にならない間も1人で取材を続けてきた。その姿を見ていると、ウォッチし続けることはつくづく大切だと改めて思う。敬意を持って彼を迎え入れ、伝えようとする番組の姿勢も立派だと思います」

(AERA dot.編集部・米倉昭仁)

## 「山上容疑者は家庭がしっかりしていれば」旧統一教会系の自民議連トップ 奥野議員が激白

AERAdot.2022/08/04 06:30 筆者：吉崎洋夫



「日本・世界平和議員連合懇談会」会長代行、奥野信亮衆院議員

旧統一教会と自民党との関係についてさまざまな指摘があるなか、旧統一教会の友好団体と自民党の国会議員らでつくる「日本・世界平和議員連合懇談会(平和議連)」の会長代行、奥野信亮衆院議員は「何が問題なのかかわからない」と主張する。本当に問題はないのだろうか？ 奥野議員が AERAdot. に詳細を語った。

平和議連は、元閣僚を含む自民党議員が役員を務め、会員数は80人を超える(総会資料から)。今年6月の総会では、平和議連の顧問で、旧統一教会の友好団体である世界平和連合の会長などを務める梶栗正義氏が講演。翌月に控えた参院選についても話し合った。

総会で配られた資料にはアンケート用紙も入っており、質問には「次期参議院選挙の地方区で、世界平和連合の応援を希望する議員がおられればお聞き下さい」と書かれていた(7月29日の AERAdot. で 詳 報 <https://dot.asahi.com/dot/2022072900086.html>)

選挙協力などが、結果的に旧統一教会の会員獲得につながりかねないとの批判の声は大きく、岸信夫防衛相など関係した議員からは「関係を見直す必要がある」などと声が出始めている。

それでも奥野議員はなぜ「問題ない」と強調するのだろうか。主な一問一答は下記の通り。

\* \* \*

—この議連はどういう議連なのか？

日本・世界平和議員連合懇談会は、旧統一教会とは無関係です。我々は世界平和連合とお付き合いをしている。なぜ付き合いがあるかという、世界の政治社会情勢を教えてくれるから。世界平和連合は、世界を平和にしたい、そのためには家庭が第一といっている。それはその通りだと思う。

付き合い始める前に、文鮮明氏とかかわりがあるのかと尋ねたら、世界平和連合側が「ない」といった。だから、なぜ世

界平和連合との関係を問題視しているか、私にはわからない。—わからない？

この議連は、議員が集まって、世界平和を追求していくということ。これは間違いのない取り組み。統一教会とは関係はない、と確認した。

関係各位  
令和4年5月吉日  
日本・世界平和議員連合懇談会総会  
ご案内  
議啓  
新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、当会は昨年6月に設立して一年を迎えることとなりました。  
この間、皆様のご理解と賛同をいただき80名を超える入会をいただきました。先般、先の総選挙の結果をよま、幹事を開催して今後の運営について確認を行いました。  
つきましては、会員の皆様へ規約の改正、役員を選任等お諮り致したく下記の如く総会を開催することとなりました。  
大変ご多忙のことと思いますが、御参加賜りますようご案内申し上げます。  
謹白

お手数をおかけして申し訳ありません。 変更をお願いします。	会長代行 衆議院議員 奥野信亮 幹事長 衆議院議員 御法川信英 事務局長 参議院議員 宮島富文
----------------------------------	---

記  
一、日 時： 令和4年6月13日(月)  
15:00~16:30

一、会 場： 衆議院議員第1議員会館 1階 国際会議場  
一、総 会： 規約、役員選任等  
活動及び今後の取り組み等  
一、報 告： 「世界の議員連合の状況」  
一、懇 談： 参議院選挙について

議員名： (第1第2参号室)

※ 6月12日までにご出欠のご返事をFAXにてお願いします。

連絡先：宮島富文参議院事務局 担当：

電話 内線 参議院会館 号室

今年6月に開

催された「日本・世界平和議員連合懇談会総会」の案内状

世界平和連合を通じて、外国の国会議員との交流もある。世界平和連合から「海外からの議員に会ってくれ」と言われたら会っている。おかしい団体とは思っていない。

世界平和を実現するためには、家庭が第一。そこに共感した。家庭がしっかりすることが、世界平和につながると思っている。山上容疑者は家庭がしっかりとしていれば、こういうことは起こらなかったのではないかと個人的には思う。

—世間は旧統一教会と関係があると見ているが？

世界平和連合に尋ねたら、「関係がない」と言った。私と話すときは、文鮮明氏の話は一切出てきません。文鮮明氏の統一教会が問題を起こしたことは知っています。それ以来、私も良い感情を持っていません。だから、「かかわりがあるなら世界平和連合とはかかわりをもたない」と言った。

—具体的な活動は？

世界平和連合と付き合うなかで、世界の政治社会情勢について学ばせてもらえる。アメリカの国会議員やカナダの国会議員など、付き合うチャンスがあるからプラスだと思っている。

—選挙については？

世界平和連合が選挙応援をしてくれるというから、「この人を応援してくれ」と言ったことがある。「当落線上にいて、票が少し足りないから、応援してくれ」と。参議院議員が多いですね、選挙区が広いので。

—応援とは具体的に票？ それとも運動員？

どういう形かはわからないが、結果として、良い結果をもたらすケースが多い。

—今回の参院選では、旧統一教会が井上義行氏を応援したと聞いたが？

統一教会じゃなくて、世界平和連合では？

—伊達忠一元参院議員が、北海道テレビの取材で安倍元首相に旧統一教会の票を頼んだと言っている。

そこは認識の違いがある。伊達氏の中では旧統一教会という認識なのかもしれない。世界平和連合が今回は井上氏を応援するという話は、事前に私も聞いていた。前回支援を受けた宮島善文氏は今回、降りると。それを聞いて、私は「大事にすればいいのに」と思った。この件について、安倍元首相からは何も聞いてない。

令和4年6月13日

議員名： \_\_\_\_\_

### アンケート

1. 今後の議連の活動に対するご意見・ご希望がございましたらお書き下さい。

2. 次期参院選挙の地方区で、世界平和連合の応援を希望する議員がおられればお書き下さい。

6月に開催された議連の総会で配布されたアンケート。選挙応援について要望を訪ねる質問も

—会長代行、事実上のトップですよ？

そう。井上氏の支援は前の会長のときに決まった話だと思う。

—前の会長は誰？

それは言えない。

—いま会長がいないのはなぜ？

それは色々あって。私は短期間だけと言われている。3、4カ月で交代すると思う。

—票を差配しているとなると、自民党と組織的にかかわっているようにも見えるが？

自民党とのかわりではない。あくまでも議員とのかわり。私の場合は、うちのおやじからのかわりで付き合っている。「国際勝共連合」だけど、秘書によると、おやじは支援してもらっていたようだ。世界平和連合から「おやじさんにはず

いぶん協力してもらった」と言われことがある。おやじと勝共連合の関係は強かった。関わり始めたいきさつは、それぞれの議員で違うと思う。

議連の相手としては、世界平和連合としてしか付き合っていない。私は文鮮明氏が嫌いだと言っているから。私には、世界平和連合と統一教会の関係はまったく見えない、出てこない。「国際勝共連合」についてはたまに出てくるが。

—今年6月の総会の案内状には「80人を超える入会」とある。これは自民党だけ？

全員自民党の議員だ。皆、世界平和に焦点を当てて、家庭が第一ということに賛同して参加している。脇のメリットとして、選挙の応援もある。なかには、それが目当ての議員もいるかもしれないが。

私は衆議院の比例だから、個人名を書いてもらうことはない。だから、世界平和連合から一度も応援をしてもらったことはない。

—今年6月の議連の総会では、奥野議員が「この懇談会に入っていればしっかり（選挙で）応援してくれる」という趣旨の発言をしたと聞いたが。

もし少し票が足りない場合は言ってくれといったかもしれない。選挙の応援の話は普通に話している。世界平和連合は選挙応援で何も言ってこない。「票を持ってこい」とか「小選挙区は自民でいいけど、比例は～」とかはない。



世界平和連合のホームページ。

旧統一教会関連の政治団体「国際勝共連合」へのリンクがある

自民党と関係を持つことが、プラスになると思っているのではないか。向こうから政策について強く押し付けてくることはないが、自分たちの考え方はこうだ、というのは言うてる。それは共感できるところなので、受け入れている。

\* \* \*

最後も奥野議員は、「世界平和連合と統一教会は関係のない団体と認識している。何が問題なのかわからないというのが率直な考えです」と改めて強調し、今後も議連を続けていく考えを示した。

(聞き手・吉崎洋夫)

旧統一教会系「勝共連合」が誇る“20代女性軍団”の正体 議員事務所を回って「お手伝いします」と潜入  
AERAdot.2022/07/27 07:00 筆者：上田耕司



勝共連合は20代の容姿端麗な女性

を国会議員の事務所に送り込んでいたという。写真はイメージ (PIXTA)

安倍晋三元首相銃撃事件で逮捕された山上徹也容疑者 (41) の母親が多額の献金をしていたことで注目されている世界平和統一家庭連合 (旧統一教会)。その過程で、政治家と旧統一教会との関係にも耳目が集まっている。

旧統一教会の創始者・文鮮明は 1968 年、反共産主義を掲げる政治団体「国際勝共連合 (通称、勝共連合)」を設立した。その時は日本が共産主義陣営と激しく対立した冷戦時代だったこともあり、勝共連合と自民党は協力関係を築いた。これを足がかりに、勝共連合は旧統一教会の“別動隊”として政界への関わりを深めていく。

元自民党本部情報局国際部主事で、福田赳夫元首相秘書だった中原義正氏はこう話す。

「私が自民党の中野四郎元国土庁長官の事務所で秘書を務めていた 1970 年代初期、20 代の若い女性が突然、『何か、お手伝いすることはありますか』と言って、議員会館の事務所にやって来ました。目がくりっとした愛くるしい容姿の女性でした。女性は『勝共連合の者です。岸信介先生にご指導いただいています』と言っていた。しばらく、事務所でコピーをしたり、お茶を入れたりする仕事をしていただけ、給料も出さず、タダで働いていました」

同事務所だけではなく、他の自民党議員の事務所にも、同様に 20 代と思しき勝共連合の女性が入り込んでいたという。

「当時、安倍晋三氏の祖父・岸信介元首相の渋谷の自宅の隣に旧統一教会の本部がありました。統一教会にとっては、そこが日本の政界進出の足掛かりでした。岸元首相の系譜を受け継いだ清和会の国会議員の事務所を中心に、勝共連合の女性たちが入り込んでいきました。当時、私は清和会所属の国会議員秘書たちのまとめ役をしていたから、他の議員事務所からも、『うちの事務所にも来た』という話をよく聞きましたよ」

国会議員の事務所に押しかけて無償で雑事を請け負う 20 代の容姿端麗な女性たち——この“20 代女性軍団”の狙いは何だったのか。

「事務所で気に入られて、議員の弱みを握り、情報を教団に上げる目的もあったのではないかと。しかし、私の知る限りでは、色恋沙汰でおかしくなった国会議員がいるとは聞いたことがない。うちの事務所の女性は 2 日に 1 回のペースで来ていたけど、押しかけて来た人を正規に秘書として雇ったりはしないから、女性は自然と来なくなった」

政界ばかりではない。大学も“美女軍団”の標的になっているという。ジャーナリストの鈴木エイト氏はこう語る。

「東大の学生を旧統一教会に引き込むためにキャンパスに“美女”を送って、仕込んだという話は元信者から実際に聞きました。東大の旧統一教会系の学習サークルに容姿がきれいな女性信者を使って誘い、頭がよくて優秀な学生をスカウトする。そうやって優秀な人材を弁護士に育てたりして、教団の“頭脳”として囲い込む事例もありました」

大臣経験のある自民党衆院議員 (中曽根派) の元秘書はこう

話す。

「うちの事務所には、いつの間にか『世界日報』が毎日届けられていました。事務所で購読していたわけではないのに、ずっと入っていた。ほかの議員の事務所にも『世界日報』が入っていましたよ。そして、選挙になると、頼んでもいないのに旧統一教会系の団体の見たこともない人たちが応援に来ていました。黙々と選挙の支援をしてくれていたが、誰に聞いても、どこから来たのかよくわからなかったんですよ」

元東京タイムズ政治部長で、政治評論家の本澤二郎氏もこんなことがあったと明かす。

「岸信介元首相と親しい元大臣のところに知り合いの女性秘書がいたんですが、ある日、『今度、うちの事務所に入った運転手は勝共連合なのよ』と私にそっと耳打ちしてきたんです。その運転手は男性でした。統一教会は 70 年代にまず岸氏の周辺にいる議員から入り込もうとしていたのではないかと。それから清和会に浸透し、じわじわと自民党全体に広がっていったのだと思います」

勝共連合のスタッフが国会議員事務所にやすやすと入り込めた背景について、元自民党政調会調査役で政治評論家の田村重信氏はこう指摘する。

「政治家は、誰であろうが選挙で応援してくれる人はありがたいのです。昔は、ヤクザだって断らない議員もいたくらい。支援者が 1 人減って、その 1 票が相手陣営に入ったら、2 票マイナスです。応援を断ったら敵を利するだけですし、組織票は必要だからみんな必死ですよ。それゆえ、どこの宗教団体だって全部ウエルカムになってしまう。票をもらわないと当選できない政治家の切迫感は想像以上なのです」

前出の鈴木エイト氏によると、旧統一教会側もそうした政治家の心理をよくわかって行動しているという。

「旧統一教会系の団体は、政治家が地方議員の時から後援会組織に運動員を派遣しています。選挙のスタッフを数多く派遣して、マンパワーで議員を支えるんです。そうやって事務所に入り込み、議員の弱みまで握って、最終的には自分が選挙に出るところまで構想を持っているのが旧統一教会なのです」

80 年代後半から 90 年代前半にかけては、靈感商法などが社会問題化した旧統一教会。だが、教団の名称変更やマスコミ報道が下火になったこともあり、世間からネガティブなイメージは次第に薄れていった。

「2006 年に安倍晋三氏が旧統一教会の友好団体である天宙平和連合 (UPF) の大会に祝電を打った時以降、政治家が旧統一教会の関連団体主催の集会に出席したり、祝電やメッセージを送ったりしても、メディアは報じなくなりました。それゆえ、政治家と教団の関係性はなかなか表面化せず、問題にもされなくなった。議員たちも問題化しないから、何回もくり返すようになりました」

鈴木エイト氏は「旧統一教会と関わりを持った現職国会議員」と題した 100 人を超えるリストを作成し、メディアに提供した。国会議員が旧統一教会系の団体のイベントに参加し

たり、祝電やメッセージを送ったりした事例、旧統一教会系の新聞「世界日報」のインタビューを受けた政治家や献金を受けた国会議員をリストアップした（7月18日時点）。

このうち9割は自民党議員だったが、野党議員も含まれていたことは世間に波紋を広げた。

昨年9月、安倍氏は旧統一教会のイベント「神統—韓国のためのTHINK TANK2022 希望前進大会」にビデオメッセージを送り、「(文鮮明の後継である)韓鶴子総裁をはじめ、みなさまに敬意を表します」と述べた。

「安倍氏はあの日に限って統一教会との関係を隠しませんでした。翌日以降はビデオは公開しないとの条件でしたが、あの映像が拡散しても自民党にも、自身の政治生命にも、何の影響もないと思っていたのでしょう。逆に旧統一教会や関連団体は、安倍氏に近い議員たちから堂々と祝電をもらったり、祝辞を受けたりすることで、問題のない団体であるというお墨付きを得た。メディアも政治家と旧統一教会の関係を問題視して報じる姿勢は一切ありませんでした。それが今回の銃撃事件を生んだとしたら、政治家もメディアも検証されなければいけないと思います」(同)

(AERA dot.編集部・上田耕司)

## 旧統一教会系団体に参院選の応援「希望する議員いれば記入を」 自民党が幹部の議連でアンケート

AERAdot.2022/07/29 20:38 筆者：今西憲之,吉崎洋夫



世界平和連合のホームページ。旧統一

教会関連の政治団体「国際勝共連合」へのリンクがある

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と自民党との関係や選挙支援などが指摘されているなか、旧統一教会の友好団体と自民党の国会議員による「日本・世界平和議員連合懇談会」の総会が今年6月、議員会館内で開かれ、7月10日投開票の参院選の応援などについて話していたことがわかった。

AERAdot. が入手した当日の式次第や役員案などの総会資料と出席者の証言によると、総会は6月13日に衆院第1議員会館の国際会議室で開かれた。司会は同懇談会事務局長の宮島喜文前参院議員が務め、挨拶には会長代行の奥野信亮衆院議員、役員選出などの議事を幹事長の御法川信英衆院議員が務めている。

そして、「報告」では、「世界の議員連合の状況」と題し、顧問の梶栗正義氏が講演したという。梶栗氏は、旧統一教会関連の政治団体「国際勝共連合」の会長で、同じ関連団体のUPF—Japan 議長でもある。

講演の際に配られた、これも旧統一教会の関連団体、平和政策研究所(IPP)が発行する「政策情報レポート」も入手した。「太平洋新文明圏時代の到来と戦略的朝鮮半島政策確立への提言」と題し、日米韓の連携強化や日韓姉妹都市交流の推進、旧統一教会が以前から提唱している「日韓トンネルの早期具体

化」などについて、A4判に7ページでまとめている。

議事では、役員を選任もあった。資料の役員案では顧問に、前出の梶栗氏のほか、大野功統元防衛庁長官や原田義昭元環境相、三原朝彦元防衛政務次官らの名前がある。

会長代行と幹事長は前述のとおり、それぞれ奥野氏と御法川氏。副会長は逢沢一郎衆院議員となっていた。

幹事にも、平井卓也前デジタル担当相ら21人の衆参自民党議員が並び、事務局は、前出の宮島議員と、事務局次長に鳩山二郎衆院議員。資料に書かれていた議員はすべて自民党だった。

式次第の「懇談」の項目には、「参議院議員選挙について(アンケートに記入)」とある。総会資料の最後のページはアンケート用紙になっており、今後の議連の活動に対する意見などを尋ねる項目と、もう一つに、



### 太平洋新文明圏時代の到来と戦略的朝鮮半島政策確立への提言

— 日米韓を軸とした南北の平和的統一を見据えて —



総会で配布された平和政策研究所(IPP)が発行する「政策情報レポート」

「次期参議院選挙の地方区で、世界平和連合の応援を希望する議員がおられればお書き下さい」とある。

世界平和連合も、旧統一教会の友好団体が梶栗氏が会長を務めている。

懇談会に参加していた、自民党の関係者は、「一般的な議連、懇談会とはちょっと違った異様な雰囲気でした。先生方の表情も普段より硬く、宗教的なものも感じて調べたら、旧統一教会系の団体が入っていました。ラウンドテーブルの会場に現職の国会議員は15人くらいきていたように記憶しています。参院選が目前で、手伝ってほしいならアンケートを書けて、こんなことはあまり聞いたことがない」と当時の様子を話した。

総会では、ある議員から「この懇談会に入っていればしっかり応援してくれる」といった趣旨の発言があり、旧統一教会系の応援を隠すことがなかったという。

総会の出欠などを事前に確認する「ご案内」の文書には、「皆様のご理解とご賛同をたまり 80 名を超える入会をいただきました」とある。関わり方の濃淡はあるにせよ、自民党の国会議員らが 80 人以上、会員として名を連ねていることになる。

事務局長の宮島前参院議員の元秘書に議連の趣旨などについて聞くと、

「議連はどことも同じだが、会の趣旨を詳しく把握して参加しているわけではありません。事務局長でしたが、役割は出欠の窓口だけ。世界平和連合から『いついつにやるよ』という案内が各議員に送られて、各議員からくる出欠を事務的に管理していただけです。議連の趣旨は世界平和連合に聞いてもらったほうがいい。世界平和連合と中身の打ち合わせはない。世界平和連合が決めていました」

などと答えた。

事務局次長の鳩山氏は、

「父親、鳩山邦夫の関係で懇談会に出たように思います。たしか、ご挨拶をしてすぐに会場を後にしたのではないかと。旧統一教会の関連団体というのは、なんとなくそのような気はしていた。事務局次長という肩書となっているようですが、実はそう熱心に活動しているわけではありません。これからの関係については、考えなければなりません」

としている。



世界平和統一家庭連合（旧統一教会）が入る建物

幹事としてメンバーに入っている中村裕之衆院議員は取材に対し、

「私は同じ派閥の先生からお誘いがあり、この懇談会にお誘いがあったので参加しました。旧統一教会と何らかの関係はあるような気はしていたけど、報道を見て、ここまでとは思いませんでした。昨年 10 月の衆院選では、いわゆる電話作戦などで、旧統一教会の関連団体から応援をいただいていた。今、自民党として旧統一教会の関連団体との関係、対応をどうするか検討しているので、今後はそれに従っていくつもりです」

などと答えた。

同じく幹事の神田憲次衆院議員は、

「先輩議員から言われて幹事として名前を連ねている。今年 6 月の懇談会には出席したのかははっきりしない。旧統一教会の関連団体の懇談会であることは知っていた。そこを確認したら『今はコンプライアンス上、問題がありません』と彼らは話していたので、大丈夫かという認識でいました。しかし、安倍元首相の事件後、旧統一教会のことが大きなニュースとなっ

ている。今後は関わり方を考えるつもりだ」

と話した。

他の幹事の議員や秘書からも、「旧統一教会関連の懇談会とは知りませんでした」「祝電は送ったことがあるが、反社会勢力などでなければ、機械的に送っているものです」「教育関係の政策について意見交換をする程度。何かを頼まれたことはありません」「幹部に名前を連ねているだけで、議連で役割があるわけではありません」「国連 NGO 団体の活動に関連する議員の集まりのお誘いが議員仲間からあり参加しました」といった、特別な関係性を否定する内容の回答が多くあった。

世界平和連合はどのような考えなのか――。

議連の趣旨や総会での参院選についての話、先の参院選で応援を希望する議員の有無、実際に応援した候補者の人数などについて問い合わせた。

世界平和連合は議連の趣旨について、「当該集会について答える立場にありません」と回答。参院選について話し合われた内容と応援を希望する議員がいたかについては「当該集会について答える立場になく、承知もしておりません」。

また、先の参院選で実際に何人の候補者を応援したのか、どういった応援をしたのかについては、

「個々の議員の政策が我々の理念と一致する場合に応援することがありますが、詳細につきましては相手方のあることであり、答えを控えさせていただきます」

と回答した。

前出の宮島事務局長の秘書は、議連のことは世界平和連合が決めているなどと話していたが、食い違う回答内容だった。

全国靈感商法対策弁護士連絡会の加納雄二弁護士は、

「旧統一教会が国会議員と関係を深める、選挙支援するのは広告塔に使えるから。その結果、信者になると寄付や高額な多宝塔など買わせられ、経済的に大きなダメージを受け、最後は山上容疑者のような家庭崩壊、人格まで破壊される。旧統一教会と付き合うことは反社会的な宗教に協力していることと自覚してほしい」

と指摘している。

(AERAdot. 編集部・今西憲之、吉崎洋夫)

日本・世界平和議員連合懇談会

総会

令和 4 年 6 月 13 日  
衆議院第一議員会館 国際会議室

総会資料

日本・世界平和議員連合懇談会総会

式次第 令和4年6月13日

司会：事務局長 宮島喜文 参議院議員

一、開会

一、挨拶 会長代行：奥野 信亮 衆議院議員

一、総会議事 幹事長：御法川 信英 衆議院議員

議事 ①規約の改正

②役員選任 等

一、報告 「世界の議員連合の状況」 顧問：梶原正親 (UPF-Japan 議長)

一、懇談 参議院議員選挙について

(アンケートに記入)

一、閉会

《お知らせ》6/15 以降の連絡先

宮島事務所：FAX [redacted]  
連絡先：[redacted] (担当：[redacted])

1

総会資料

日本・世界平和議員連合懇談会 規約改正案

(名称) 第1条 本会は、「日本・世界平和議員連合懇談会」と称する。

(目的) 第2条 本会は、日本・世界平和議員連合懇談会の趣旨に賛同する議員によって構成され、国際的な諸機関と連携を図りながら世界平和の実現、我が国の繁栄と平和に寄与する事を目的とする。

(会員) 第3条 本会は、前条の趣旨に賛同する国会議員をもって構成する。

(役員) 第4条 本会に、次の役員を置くことができる。

- 名誉会長 1 名
  - 顧問 若干名
  - 会長 1 名
  - 会長代行 1 名
  - 副会長 若干名
  - 幹事長 1 名
  - 副幹事長 若干名
  - 幹事 若干名
  - 事務局長 1 名
  - 事務局次長 若干名
- 会長は総会の決議により選出し、他の役員は会長が委嘱する。  
役員は任期は2年とし、再任を妨げない。

(総会) 第5条 本会の総会は年1回とし、必要に応じて臨時総会を開く。

総会及び臨時総会は、会長が招集する。

(幹事会) 第6条 必要に応じて幹事会を開く。

幹事会は幹事長が招集する。

(会費) 第7条 本会の経費は、会費をもってこれに充てる。

会費は月額300円とし、議員会費より徴収する。

(事務局) 第8条 本会の事務局は、事務局長のもとに置く。

附則 本規約は設立総会日より施行する。

2

総会資料

日本・世界平和議員連合懇談会 役員(案)

- 顧問 大野功統 元衆議院議員  
榎本卓治 元参議院議員  
原田義典 前衆議院議員  
三原朝彦 前衆議院議員  
梶原正親 UPF-Japan議長
- 会長代行 奥野信亮 衆議院議員
- 副会長 逢沢一郎 衆議院議員
- 幹事長 御法川信英 衆議院議員
- 幹事 奥野信亮 衆議院議員、土井 亨 衆議院議員、伊東良幸 衆議院議員  
山本浩江 衆議院議員、神田喜久 衆議院議員、武川雅也 衆議院議員  
江島 啓 参議院議員、北村雅夫 参議院議員、岡本幸之助 衆議院議員  
田所嘉徳 衆議院議員、中村裕之 衆議院議員、田中伸吾 衆議院議員  
青山高平 衆議院議員、平井孝也 衆議院議員、高木宏喜 衆議院議員  
中川雄子 衆議院議員、大平幸三 参議院議員、赤坂 亨 衆議院議員  
斎藤洋行 衆議院議員、山田美樹 衆議院議員、宮澤洋行 衆議院議員  
(期不同)
- 事務局長 宮島喜文 参議院議員
- 事務局次長 樋山二郎 衆議院議員

総会資料

令和4年6月13日

議員名： \_\_\_\_\_

アンケート

1. 今後の議連の活動に対するご意見・ご希望がございましたらお書き下さい。

2. 次期参議院選挙の地方区で、世界平和連合の応援を希望する議員がおられればお書き下さい。

総会資料

関係各位 令和4年5月31日

日本・世界平和議員連合懇談会総会

ご案内

謹啓  
新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、当会は昨年6月に設立して一年を迎えることとなりました。  
この間、皆様のご理解と賛同をたまわり80名を超える入会をいただきました。先般、先の総選挙の結果をふまえ、幹事会を開催して今後の運営について審議を行いました。  
つきましては、会員の皆様へ規約の改正、役員選任等お諮り致したく下記の如く総会を開催することとなりました。  
大変ご多忙のことと思いますが、御参加賜りますようお願い申し上げます。 謹白

お手数をおかけして申し訳ありません。  
変更をお願いします。

会長代行 衆議院議員 奥野信亮  
幹事長 衆議院議員 御法川信英  
事務局長 参議院議員 宮島喜文

記

- 一、日 時： 令和4年6月13日(月)  
15:00~16:30
- 一、会 場： 衆議院議員第1議員会館 1階 国際会議場
- 一、総 会： 規約、役員選任等  
活動及び会費の取り組み等
- 一、報 告： 「世界の議員連合の状況」
- 一、懇 談： 参議院選挙について

議員名： (第1 第2 号室)

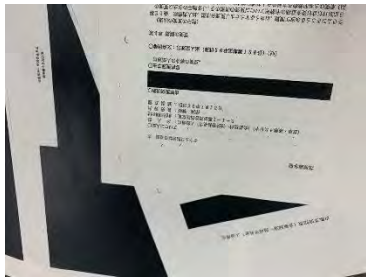
※ 6月12日までにご出欠のご返事をFAXにてお願いします。  
連絡先：宮島喜文参議院事務所 担当： [redacted]  
電話 [redacted] FAX [redacted]  
内線 [redacted] 伊藤院会館 [redacted] 号室

案内状



## 「自民党とはズブズブ」旧統一教会との関係が明るみに 政治家には魅力的な「選挙支援」

AERAdot.2022/08/03 08:00 筆者：福井しほ、野村昌二、川口穰



2015年6月2日に変更申請があり、認証されたのはわずか3カ月後の8月26日。変更理由は黒塗りにされている（文書は宮本徹議員提供）

安倍晋三元首相銃撃事件をきっかけに、自民党と旧統一教会の関係が取りざたされている。議員は関連団体のイベントに出席するなどしてきた。しかし、関係を問われると口の重い議員が少なくない。AERA2022年8月8日号の記事から紹介する。

\* \* \*

銃撃で殺害された安倍晋三元首相の実弟・岸信夫防衛相が7月26日の記者会見で、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と自身の関係について淡々と明かした。

「旧統一教会の方と付き合いもあるし、選挙の際にも手伝ってもらっている」

「支援者を多く集めることは必要なこと」

岸氏の祖父・岸信介元首相以来とされる、自民党と旧統一教会の長い付き合い。つぼや印鑑などを高額で買わせる「靈感商法」が社会問題となった旧統一教会を長年取材してきた前参院議員でジャーナリストの有田芳生さんも、こう指摘する。

「自民党と旧統一教会はズブズブです。特に、岸（信介）さん、（安倍元首相の父で元外相の）安倍晋太郎さん、晋三さんの流れをくむ清和会（安倍派）の議員が親しい関係を築いています」

実際、朝日新聞によると、安倍氏の元首相秘書官だった井上義行参院議員は旧統一教会の「賛同会員」。清和会前会長の細田博之衆院議長は関連団体のイベントであいさつをする動画が報じられ、本誌の取材に「答えは差し控える」（事務所）とするとどまった。

### ■元首相もメッセージを

昨年は安倍元首相が関連団体にビデオメッセージを送り、これが山上徹也容疑者＝殺人容疑で送検＝の動機に関係していると見られる。山上容疑者の母親は旧統一教会信者で、1億円以上の献金で家庭が崩壊したとされる。

また、自民党の青山繁晴参院議員（無派閥）は自身のブログで、ある派閥の長が「各業界団体の票だけでは足りない議員については、（旧）統一教会が認めてくれれば、その票を割り振ることがある」と話したと記している。

全国灵感商法対策弁護士連絡会の代表世話人・山口広弁護士はこう語る。

「旧統一教会は多くの被害者を生み、全国の家庭に重大な亀裂をもたらした反社会的な団体。普通の宗教法人やNPOと交流することは全く性質が違う。そんな団体と政治家が付き合うことがどれだけ被害を拡大し、すでに苦しんでいる人に影響を与えるのか真剣に考えてほしい」

### ■「議員にはありがたい」

連絡会は19年、全国会議員に対し、旧統一教会関連のイベント出席や祝電をしないよう求める要望書を送っている。

山口弁護士によると、教団が持つ「固い票」は全国で10万票程度だという。それとともに政治家にとって魅力的なのが「選挙支援」だ。

「選挙を手伝った元信者の話は何度も聞きました。選挙期間中はマンションの一室に寝泊まりし、選挙運動に従事する。普段は宗教勧誘を担っているのでも、戸別訪問やビラ配り、電話かけはお手のもの。そんな信者が何人も期間中ずっと手伝ってくれるのは、議員にとってありがたいでしょう」（山口弁護士）

旧統一教会側にとっても、政権与党に近づくメリットが大きく分けて二つあるという。

「一つは、経済活動や勧誘活動の際の摘発対策です。2009年に灵感商法で印鑑を売りつけた東京の信者が懲役刑になるなど、10年ごろにかけて摘発が相次ぎました。その反省として、政治家へのアプローチはとことんやるようにと指示が出たのです。もう一つは、政治運動を通じた社会への浸透です。旧統一教会は同性婚や夫婦別姓などについて『家庭の秩序を乱す』と反対している。考えが近い議員を支援して、その政策を広めることで旧統一教会自身も社会に浸透しようとしているのです」（山口弁護士）

### ■「大臣の意向は不可欠」

文部科学省が15年8月、旧統一教会の名称変更を認めたことも注目されている。

当時の文科相は、安倍派幹部の下村博文・前党政調会長だった。本誌がこのときの経緯を事務所に尋ねると、「文化庁の事務方から『名称変更の申請があったので事務的に進めます』との報告がありました。特に私から指示することはありません」と文書で答えが返ってきた。

これに疑問を投げかけるのが前川喜平・元文科事務次官だ。前川さんは文化庁宗務課長だった1997年7月、旧統一教会から変更の相談を受けたものの、灵感商法の問題などから判断して申請を受理しなかった。

「今までできないとしてきたものを認証するのは、役所にとって大きな出来事。役人だけの判断ではできず、大臣の意向を確かめることが不可欠です。下村氏が事前に報告を受けたというのは、事前に指示を与えたことを認めているに等しい」

共産党の宮本徹衆院議員は当時の決裁文書の情報公開請求をして開示を受けた。だが、変更理由が書かれた部分は黒塗りになっていた。本誌が文化庁の担当者に関わり合わせると、「（理由を公開できないのは）法律で決まっている」という答えだった。

宮本議員は「国民への説明責任が問われている。今後検証し

ていきたい」と話した。真実が闇に葬られないように願いたい。  
 (編集部・福井しほ、野村昌二、川口穰)

(AERA2022年8月8日号より)  
 ※AERA 2022年8月8日号

### 旧統一教会(世界平和統一家庭連合)と 国会議員の関係

所属	議員	事実関係	コメント
自民党	末松信介 文部科学相	関連団体の会員男性1人が2020~21年に2万円のパーティー券を計4枚購入	極めて常識の範囲内のことで、特別な付き合いの認識は全くない。選挙の支援も受けていない(末松氏)
	萩生田光一 経済産業相	14年に同会主催のイベントであいさつ	—
	岸信夫 防衛相	同会のメンバーから選挙支援	「具体的には存じ上げないが、電話作戦などボランティアでお手伝いをいただいたケースはあると思う」「選挙だから支援者を多く集めることは必要なことだと思っている」(岸氏)
	二之湯智 国家公安委員長	18年に関連団体のイベントで実行委員長	「ちょっと名前を貸してほしいということだったので登壇しました」(二之湯氏)
	船田元 衆院議員	関連団体のイベントに祝電。関連団体の国際勝共連合の活動に賛同する「勝共推進議員連盟」に所属したことも	「その後、当団体は統一教会と一心同体であることを改めて理解することとなり、また統一教会が憲法第20条や多額寄付の適法性など、社会から厳しく糾弾される行為を続けていることに抗議して、一切の関わりを遮断」(船田氏)
	逢沢一郎 衆院議員	18年に同会主催のイベントに出席	—
	稲田朋美 衆院議員	09年に関連団体のイベントであいさつ	—

朝日新聞のほか、各政党の発表、各氏のブログ、ツイッター、フェイスブックなどから

(AERA2022

年8月8日号より)

### 旧統一教会(世界平和統一家庭連合)と 国会議員の関係

所属	議員	事実関係	コメント
自民党	井上義行 参院議員	同会の「賛同会員」	関連団体は朝日新聞の取材に6月の会合で「応援した」と回答
	井原巧 衆院議員	関連団体から選挙などの支援	「応援メッセージや後援会名簿をいただいたりしたことはあります」(井原氏の事務所)
	奥野信亮 衆院議員	14年に代表の自民党支部が関連団体に「支援団体会合費」3万円を支出。16年、自身の関係政治団体が同団体に「後援団体会合費」5万円を支出	—
	神田憲次 衆院議員	15年に自身の関係政治団体が関連団体に「年会費」3万6千円を支出	—
	工藤彰三 衆院議員	関連団体について「支援団体の一つ」と回答	—
	三ツ林裕巳 衆院議員	18年に同会主催のイベントに出席	—
	細野豪志 衆院議員	13年に自身の関係政治団体が関連団体「世界日報」の元社長から3万円の寄付を受ける	—

朝日新聞のほか、各政党の発表、各氏のブログ、ツイッター、フェイスブックなどから

(AERA2022年8月8日号より)

### 旧統一教会(世界平和統一家庭連合)と 国会議員の関係

所属	議員	事実関係	コメント
立憲民主党	篠原孝 衆院議員	04年に関連団体の会合に祝電	—
	小宮山泰子 衆院議員	06年に関連団体の会合に祝電	「統一教会とは別の有志会合として2001~13年まで23回案内がありました。全て欠席。出席せずメッセージを数回寄せましたが2006年途中より、これらが統一教会と不可分の催しであると判断し以降対応をお断りし続けています」(小宮山氏)
	中川正春 衆院議員	18年に関連団体の会合に祝電	—
	松木謙公 衆院議員	13年に自身の関係政治団体が関連団体に「会費」1万5千円を支出	泉健太代表は、立憲の4氏いずれも同会との関連を認識しておらず、関係は断たれているとしている
日本維新の会	足立康史 衆院議員	関連団体のイベントで講演	「関連団体とは存じ上げませんでした。不注意でした。二度と接点を持つことはありません」(足立氏)
国民民主党	玉木雄一郎 代表	自身の後援会が世界日報社の元社長から16年に計3万円の寄付を受ける	「私としても国民民主党としても、旧統一教会あるいはその後継組織の集会やイベントに参加したことはない」(玉木氏)

朝日新聞のほか、各政党の発表、各氏のブログ、ツイッター、フェイスブックなどから